



山西小学校便り

山西っ子

《なかよく・かしこく・たくましく》

▽四年生の草取り体験



台風が九州に近づいているようです。農作物の被害も心配です。

令和2年9月1日(火) no.20 文責：上田

熱中症に注意を

朝夕はいくぶん涼しくなったようにも感じますが、日中は残暑が厳しい日が続いています。9月下旬の運動会に向けた屋外での練習もあり、コロナ禍で子どもの体調には例年になく注意を払っていますが、朝食の摂取や体調のチェックなど、家庭でもご留意いただきたいと思います。先日、職員で救命処置について研修を行いました。意識の確認→周囲への助け→救急車とAEDの手配→呼吸の確認→心臓マッサージ(胸骨圧迫)→AEDが、救命措置の手順となります。特に、死線期呼吸(喘いでいるような呼吸)でAEDの使用をためらうことなく心臓マッサージ(胸骨圧迫)やAEDの使用を行うことを確認しました。熱中症の対策として、処置も含めて対策を講じなくてはなりません。

防災の日に

今日は“防災の日”です。例年、全校で一斉避難訓練を実施してきましたが、今年はコロナ対策もあり学年別で避難訓練を行いました。

私は、熊本地震後の9月1日、間借りしていた中学校の教室から防災頭巾を着用して行った避難訓練のことをよく覚えています。グラウンドに集合した小中学生に一枚のポスター(静岡県作成:被災した家屋を前に、一人の女の子が家族を案じている言葉が添えられたもの)を手に、命を守る行動を普段から考えてほしいと話しました。



山西小学校の校長室の壁に、村のハザードマップ等を貼っています。

災害から身を守る行動をとることができる力こそ、まさに『生きる力』であると思います。私たちには無意識のうちに自分に都合のいいことばかりを考えてしまうという確証バイアスがあります。「もし・・・」という想定を忘れてはなりません。



文科大臣メッセージを送信

文部科学大臣からの「保護者や地域の皆様へ」「児童生徒等や学生の皆さんへ」というメッセージをメールで送信しました。ニュース等では感染を責める言動が社会問題として報じられています。正しく恐れ、不安と向き合うことを子どもたちとともに学んでいかななくてはなりません。